



## シャブリ/CHABLIS ヴィンテージ 2014

この新しいヴィンテージは、品質面でも数量面でも、ブルゴーニュ/Bourgogne でとても良い年と予想されている。ただ、複雑な年で、季節の到来が少し前後していたことについては、生産者の意見が一致する。

春は夏のように、とても暑くなることもあった。聖霊降臨の祝日の際（注：6月8-9日）には、あまりに暑く、風もなく、最も早熟の区画の開花は暑さに乱された。特にスラン川右岸のとても美しいテロワール/terroirにおいて、収穫量の損失を生み出した。

続く夏は、秋のような雰囲気、うっとうしく雨も多く、生産者を不安にさせたため、生産者は、9月の好天を心から期待した。そして、期待どおり、9月は評判にたがわず、暑く乾燥していて、その役割を見事に果たし、夢のようであった。統計によると、2014年9月は過去130年で最も暑い月となった。

収穫は、始めては中断し、再び始めるという、いつになく不規則なリズムで進んだ。天候に恵まれたおかげで、生産者はリスクを負うことなく、格別に美しく健全な果房の衛生状態の悪化を懸念することなく、ぶどうの成熟の進み具合に合わせて収穫をすることができた。果粒が大きくならなかったのも、雨を望む声すらあったが、果粒は凝縮する傾向にあった。

最初の収穫は、9月11日に行なわれたが、大半は9月15日の週に始まった。中には、収穫の終了を10月初めまで待った生産者もいる。この年の収穫には、忍耐強く、酸が自然に減少する時間を待つ必要があった。

最初のヴィンテージ検証によると、2014年はとても有望である。6月の極端な暑さのために花ぶるいがひろがり、収穫量は期待を下回ったものの、数量は揃っている。数量が不足した2013年の後なので、生産者の間には安堵が広がっている。数量不足のために、この数ヶ月、ワインを回せなかった市場もある。2014年ヴィンテージは、再び力を取り戻すことができると期待している。

熟成中のワインは、バランスに優れ、爽やかさ、張り、自然の糖分の豊かさを示している。アルコール発酵とマロラクティック発酵はうまく進んだ。香りは率直で、シャブリの純粋さが表れている。熟成により、現在の張りが溶け込み、シャブリの典型的なヴィンテージの一つとなるであろう。2014年は、一般的にブルゴーニュ/Bourgogne の白ワインにとって、素晴らしい年といわれている。陰影に富み、精緻なその特徴は、熟成能力に恵まれていることを予測させる。

プレスお問い合わせ : Françoise Roure – Responsable Marketing/Communication BIVB-Chablis  
Tél. : + 33(0)3 86 42 42 22 – Fax : + 33(0)3 86 42 80 16 – francoise.roure@bivb.com